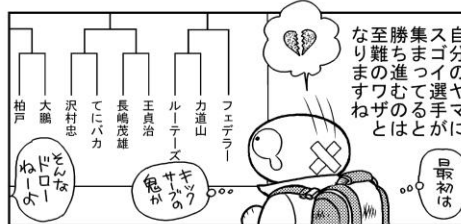


トーナメントには「ドロー運」というものがあるよって…



しかし2007年の全豪オープンで

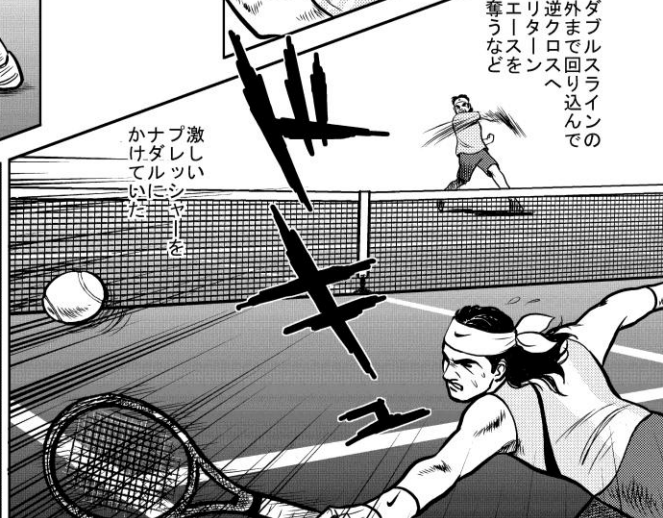


この試合第1セットはゴンザレスもナダルもお互い
フォアハンドに回り込んで逆クロスを使って主導権を握ろうとしていた

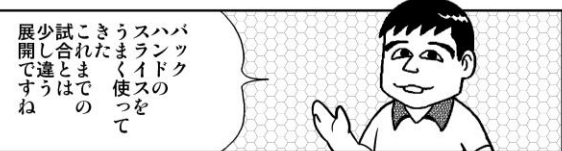
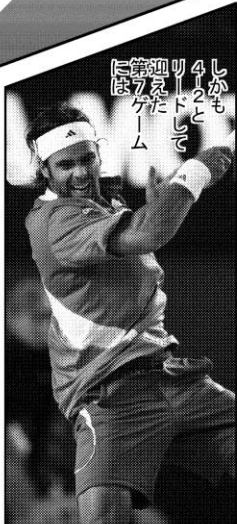
特にゴンザレスは2-2となった第5ゲームでは…



ナダルのサーブを

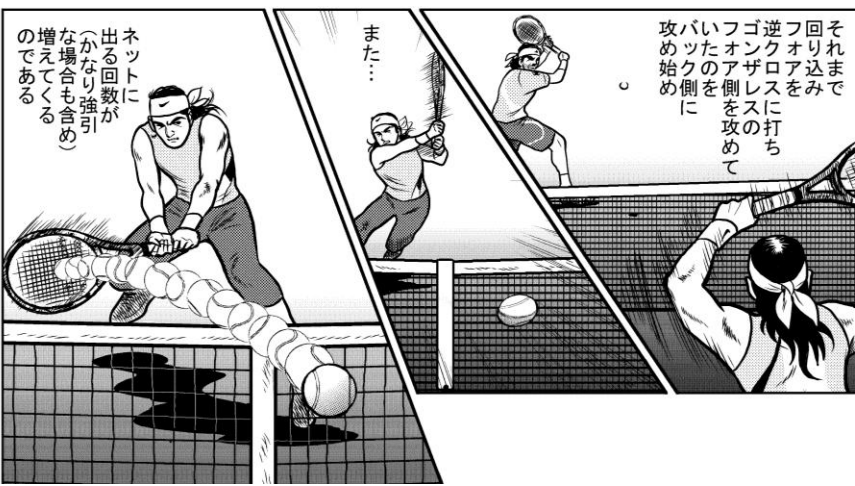
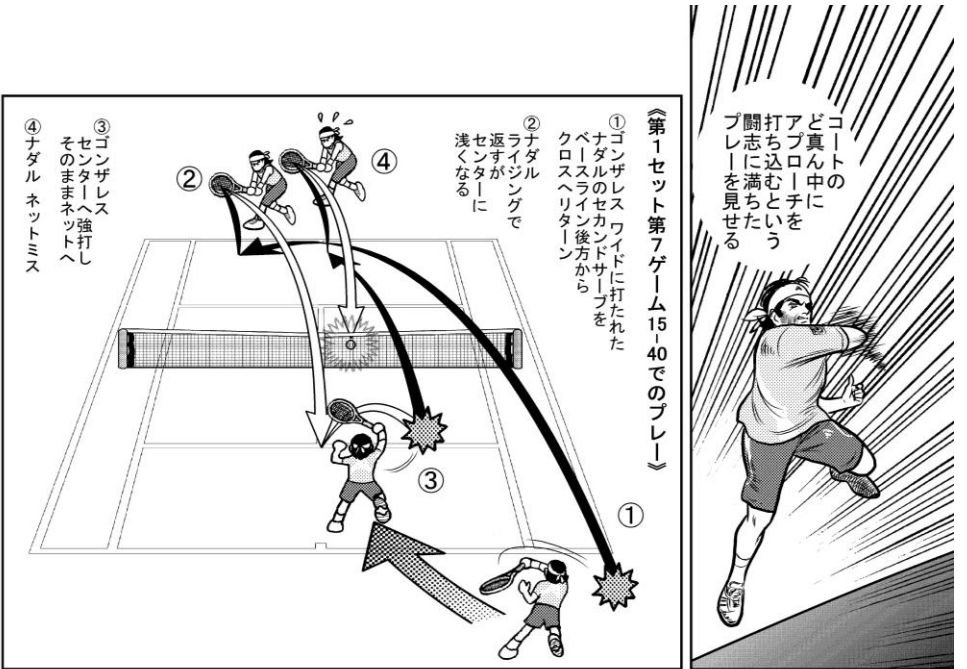
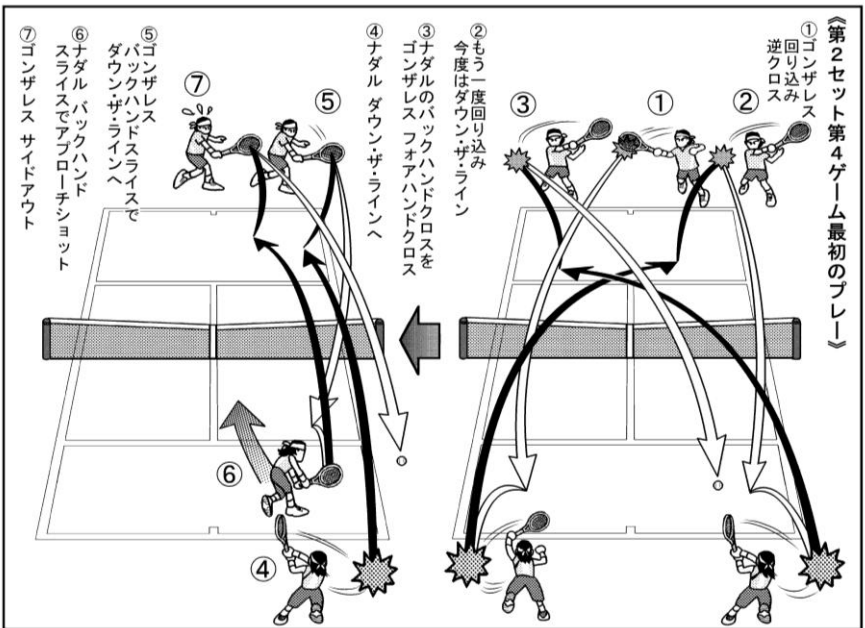


激しいラリーをナダルはかき回した



ミニブレーク

監修協力 ● 丸山 薫 漫画 ● 石川正順





2セットアップの
ポイントで迎えた
第3セット

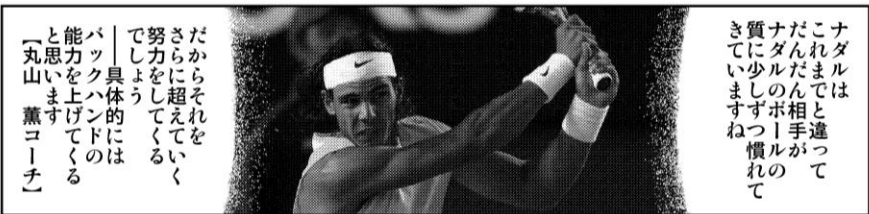
ナダルは
フオアハンド
の逆クロスや
ネットプレーなど
幅広いバリエーション
を知り、
強いバックスライスでも
強打し始めるのだが

カギとなったのは
第5ゲームだった



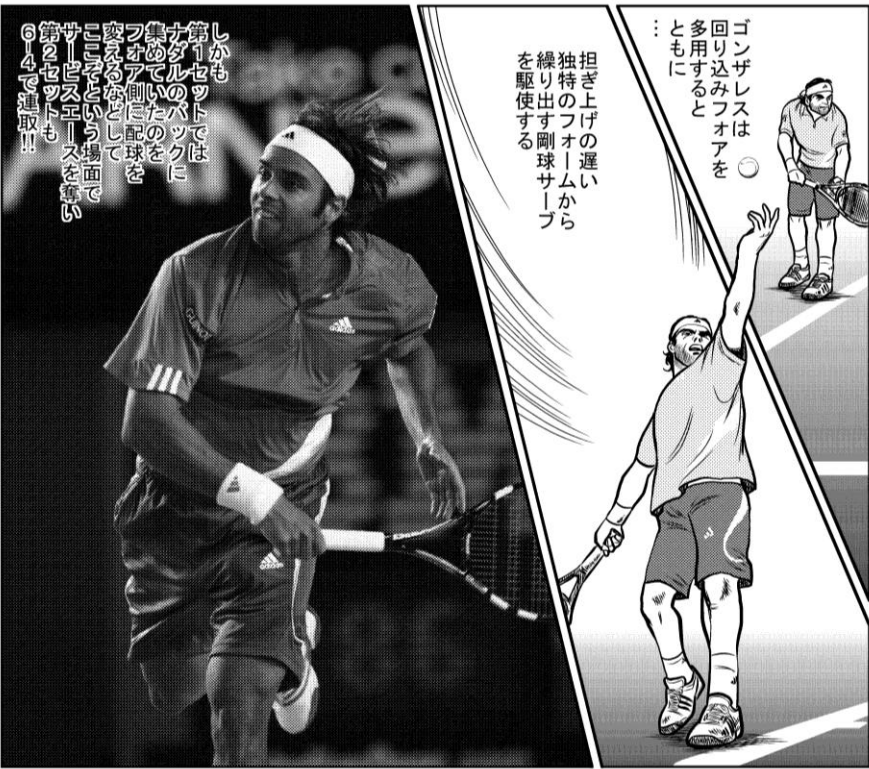
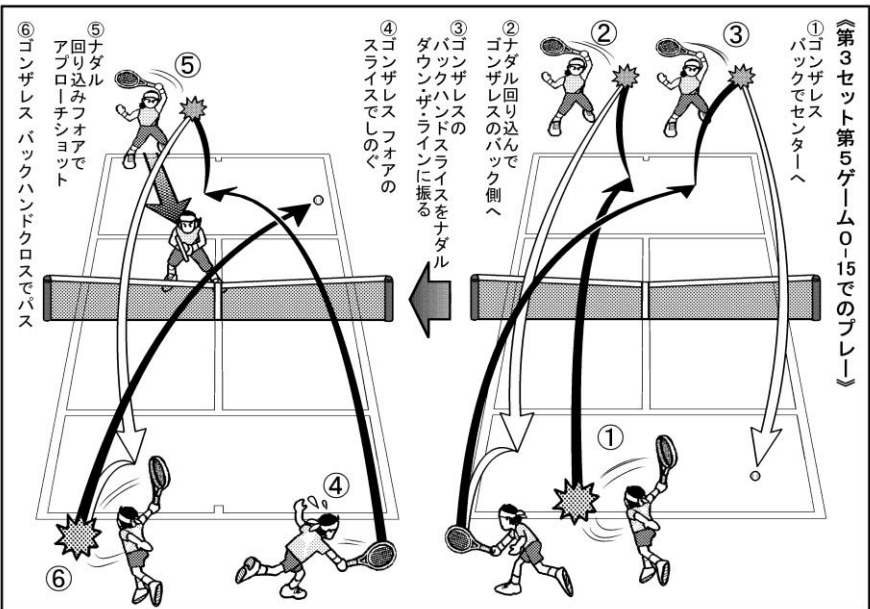
このドロップショットも
仕掛けというより
『何とか流れを変えたい』
という試みであった

しかし
好調なコンダレスは
ついかんだベースを離さず
逆にドロップショット
で切り返す



ナダルは
これまでと違って
だんだん相手の
ナダルのボールの
質に少しずつ慣れて
きていますね

だからそれを
さらに超えていく
努力をしていく
でしょう
具体的には
バックハンドの
能力を上げてくる
と思います
〔丸山 薫コーチ〕



担ぎ上げの遅い
独特のフオームから
繰り出す剛球サーブ
を駆使する

コンダレスは
回り込みフオアを
多用すると
ともに

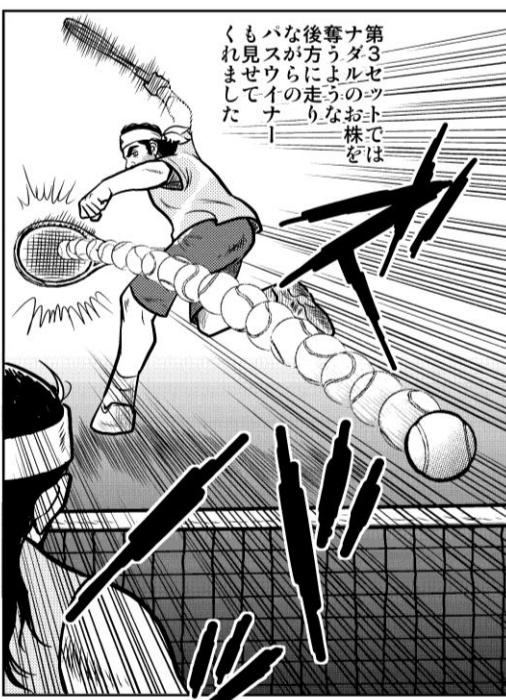
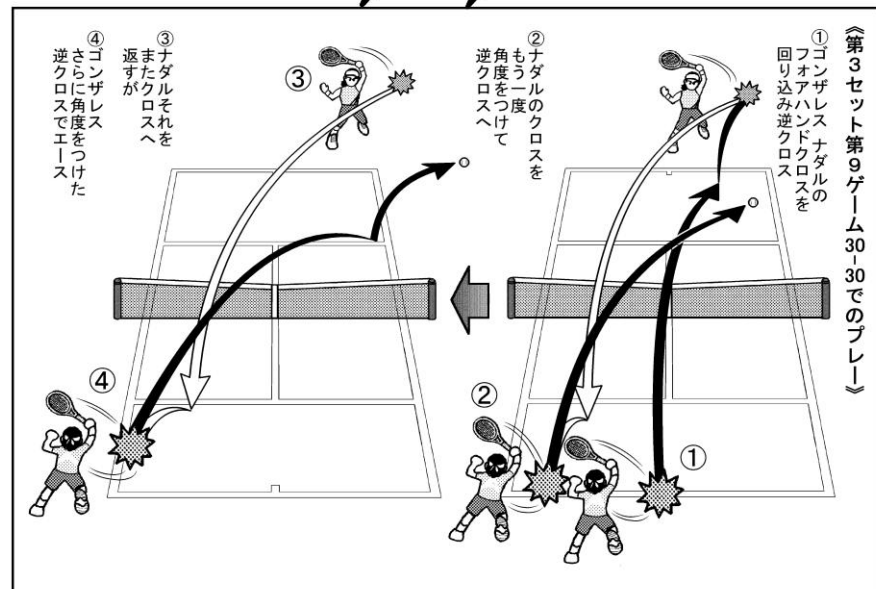
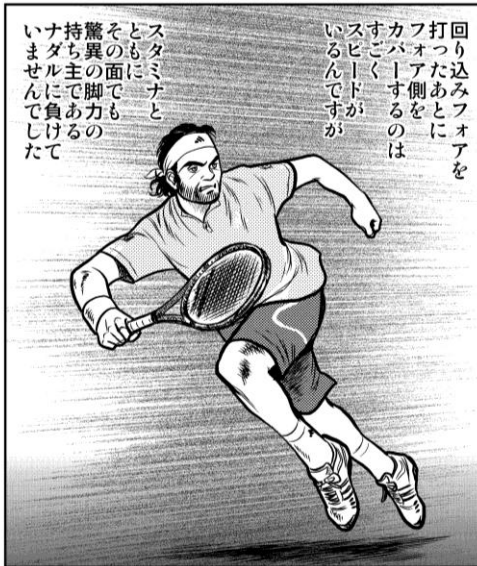
しかも
第1セットでは
ナダルのバックに
集めていたのを
フオア側に配球を
変えるなどして
ここぞという局面で
サーブエースを奪い
第2セットも
第4で連取!!



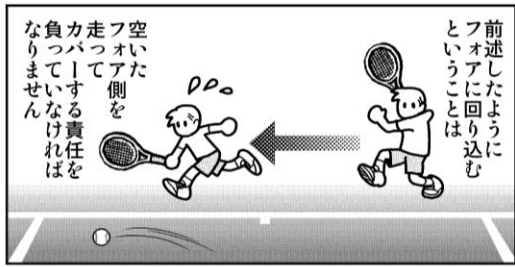
対する
ナダルは
サーブは
エースを
奪われたあと
珍しく苦しい
表情も見せ
るなど
集中が難し
そうなど



2セットアップ
しても
息を續けて
いながら
ゴンザレスは
このプレーで
さらに勢い
をつける



テニスクラシックBreak誌掲載 (日本文化出版)
まんが:いしかわせいぢゅん



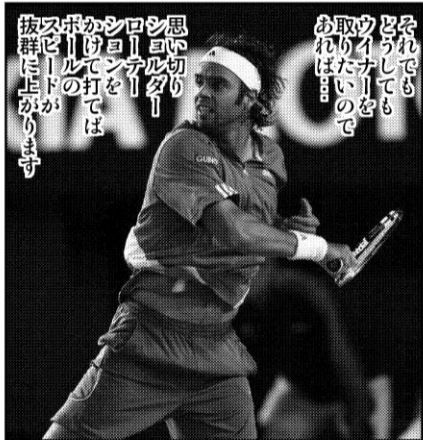
空いた側を走って負かす責任を負っていません



たまにやカウンターが返ってこねえよーなダウンサ・ラインも打ってみよてにバカさんラクしようとしてますね？



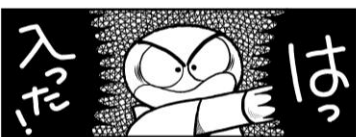
ボールから遠く分かって自回分が思っで半歩より切れば思離れればできすよ



それでもどいうても取りたいのであれば、思い切り下切り、シヨルテ、シヨルテ、かけて打てば、スビッドが抜群に上ります



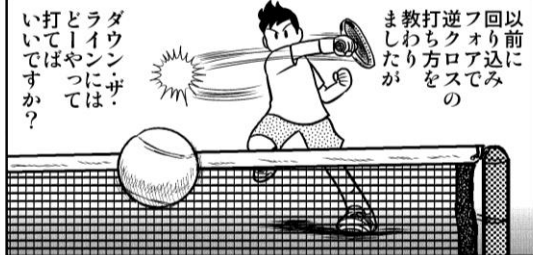
うおおお 入った おお おお



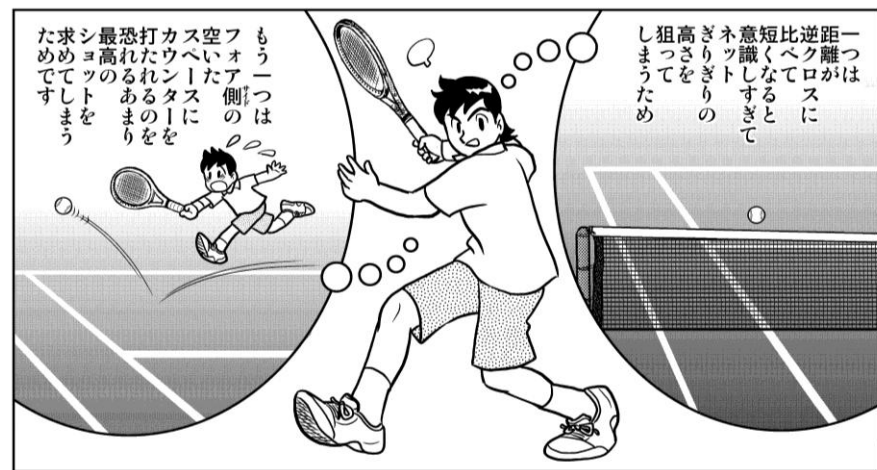
お山の草子の スバと解決このあ



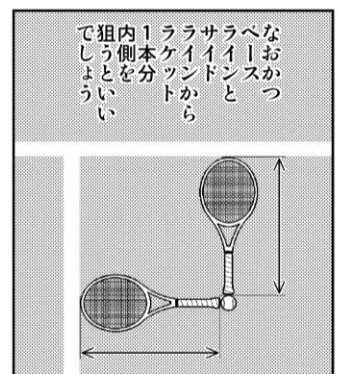
その原因は二つ考えられます



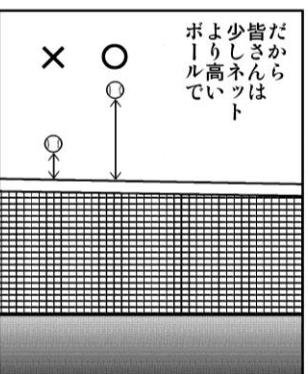
前にみ返さず逆クロスが打ちたいですか？



一つは距離が逆クロスに比べて短くなるので意識しすぎるとネットぎりぎりの高さ狙うため狙って



なおかつベイスとラインからラケットの本分と狙い側を



だからみんなはより高いネット



プロのみでも回りのみでバックハンドを打つのは難しい